科目名	化学基礎演習 生物基礎演習	単位数	1 1	必修選択	選択
教科書	なし				
副教材	大学入学共通テスト対策チェック＆演習化学基礎（数研出版） 大学入学共通テスト対策チェック＆演習生物基礎（数研出版）				

教科・科目の内容

共通テストの化学基礎、生物基礎に対応するには、以前に学習した化学基礎、生物基礎のどの単元に対しても問題を解けるようにしておかなければなりません。この演習の授業を通して問題を解けるようにしていきましょう。

日常生活や将来とのつながり

この科目においては２つの柱があるでしょう。一つは、受験に関わる２科目である「化学基礎」「生物基礎」でより高得点を目指すという、はっきりした目標です。以前に学習して苦手意識を持った分野があるかもしれませんが、この科目で問題を解くことを積み重ねていけば、必ず克服できるはずです。

より高い目標に到達できるように努力しましょう。二つ目は、現在、日常生活において、化学、生物に関わる物品があふれています。これらが私たちの生活をより裕福にしているわけです。それらに対して知識を持てば、より意味のある生活が送れるはずです。その知識をこの科目で得ていきましょう。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

予習として、授業で演習する問題に必ず目を通しておいて下さい。自分で一度解くことで分からない所が見えてきて、効率の良い学習につながります。また、授業であつかう問題に関連したものを自主的に解いてみることも非常に有効です。

この演習科目の学習では、今述べたように予習は重要です。その上で説明をよく聞き、板書はもちろん、口頭説明でも重要と思われることは全てノートに取りましょう。

到達目標　　【学習指導要領】

基礎的、発展的な問題の演習を通して「化学基礎」「生物基礎」の目標・内容に示された能力と態度を育てる。

評価の観点（評価方法）

①　関心・意欲・態度（行動観察・実験レポート・ノート点検）

日常生活や社会との関連を図りながら自然や物理現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

②　思考・判断・表現（行動観察・実験レポート・ノート点検・定期試験）

自然や物理現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。

③　技能（実験レポート）

自然や物理現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

④　知識・理解（小テスト・定期試験）

自然や物理現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

【年間指導計画】 R4 理科　　　　学科横断科目

指導学年	科目名	単位数	教科書名（出版社）	副教材名
3年	化学基礎演習 生物基礎演習	1 1	なし	チェック＆演習化学基礎（数研出版） チェック＆演習生物基礎（数研出版）

学期	学習内容	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	評価の観点 関	思	技	知
一学期	主に化学基礎について副教材を用いて問題演習をする。	・問題集の問題を解き、解答および解答に至る過程を発表する。 ・共通テストで高得点を目指す。	○	○		○
	主に生物基礎について副教材を用いて問題演習をする。	・問題集の問題を解き、解答および解答に至る過程を発表する。 ・共通テストで高得点を目指す。	○	○		○
二学期	主に化学基礎について副教材を用いて問題演習をする。	・問題集の問題を解き、解答および解答に至る過程を発表する。 ・共通テストで高得点を目指す。	○	○		○
	主に生物基礎について副教材を用いて問題演習をする。	・問題集の問題を解き、解答および解答に至る過程を発表する。 ・共通テストで高得点を目指す。	○	○		○
三学期	共通テスト本番に向けたより実戦的な化学基礎、生物基礎の問題演習をする。	・問題集の問題を解き、解答および解答に至る過程を発表する。 ・共通テストで高得点を目指す。	○	○		○

備考	